



アクティビティ
サポートセンター

ゆい

自立訓練(生活訓練)
事業

自分らしい生き方、
実現しませんか？

社会福祉法人ひらイルミナル



きらきら City プロジェクト in ひらい

ゆいには、人の役に立ちたい、地域のためになることがしたいという声からできた「お役立ちプロジェクト」というグループミーティングのプログラムがあります。

「お役立ちプロジェクト」で利用者が声をあげたことがきっかけで、ゆいの周りや平井駅前のゴミを拾う活動が始まりました。

ゆいのスタッフは、地域開拓を目的とした住民つながり（コミュニティーキング）として、葛西、船堀、小岩など、他の地域のゴミ拾いグループの方々と、活動の中親睦を深めていきました。また、法人 SNS などの発信もあり、少しずつゆいのこの活動が周知されていきました。そうしたこともあり、他の地域のゴミ拾い活動団体の方から了承を受け、ゆいのこのプログラムは現在「ポイ捨てタバコ拾いの会・平井支部」と僭越ながら名乗らせていただいています。

ゆいでは毎週月曜日午前 11 時から定期プログラムでゴミ拾い活動をしています。タバコを吸っている方、近所の方から「こんなにタバコが落ちてるの？ 拾うの大変だね。ポイ捨てはしないようにしなくちゃ」「いつもゴミ拾いしてくれてありがとうね」「綺麗にしてくれてありがとう」「どこの人たちでやっているの？」と声をかけられることも増えました。

そうした中、船堀で活動している「きらきら City プロジェクト」の方より「平井で合同ゴミ拾いをしてみない？」との発信がありました。スタッフは企画段階ですでにハイテンション。“SDGs Happy Halloween きらきら City プロジェクト(船堀)がやってくる”というチラシを町会に配り、仮装の準備も万端に！

当日は、利用者、きらプロのみならず、ご参加いただいた地域のみならずで大盛況。まぜこぜ総勢 43 名。平井駅前ロータリーが仮装でのにぎやかなゴミ拾いで、イベント会場さながらでした。拾った吸殻はなんと 747 本で計 8 袋。小松川平井自治会会長のご挨拶や、江戸川区ボランティアセンターの取材も入りました。地域への障害者理解を意図的に促すという方法ではなく、あくまで自発的なつながりから、自然な距離感で相互理解や生活者同士のお付き合いに発展していったことが嬉しく、今後もこのようなおつきあいの関係を大切にしていきたいと思っています。